

台風被害による倒木整理と 環境学習施設としての資材活用 自然体験観察園 野草広場再生&実生林創生プロジェクト

大阪市立環境科学研究センター 梶元慶子

自然体験観察園 野草広場と実生林

野草広場
周囲74.1m
面積323m²

実生林
周囲60.6m
面積208m²

長さ30.9m

野草広場

実生林

雑木林（従来）

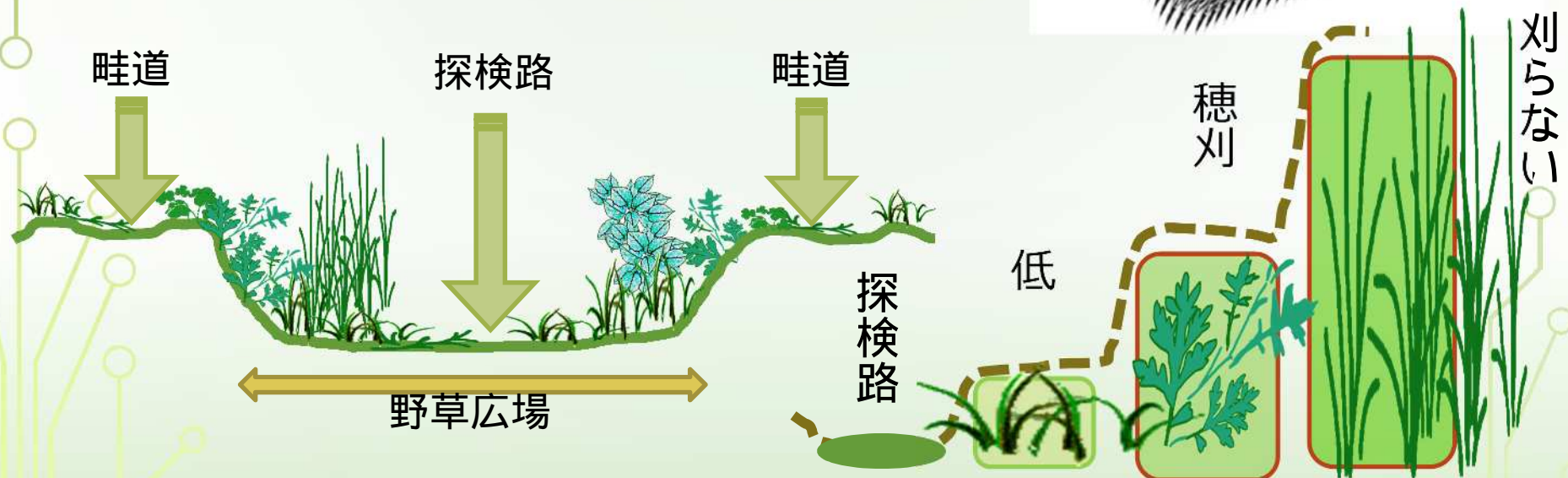
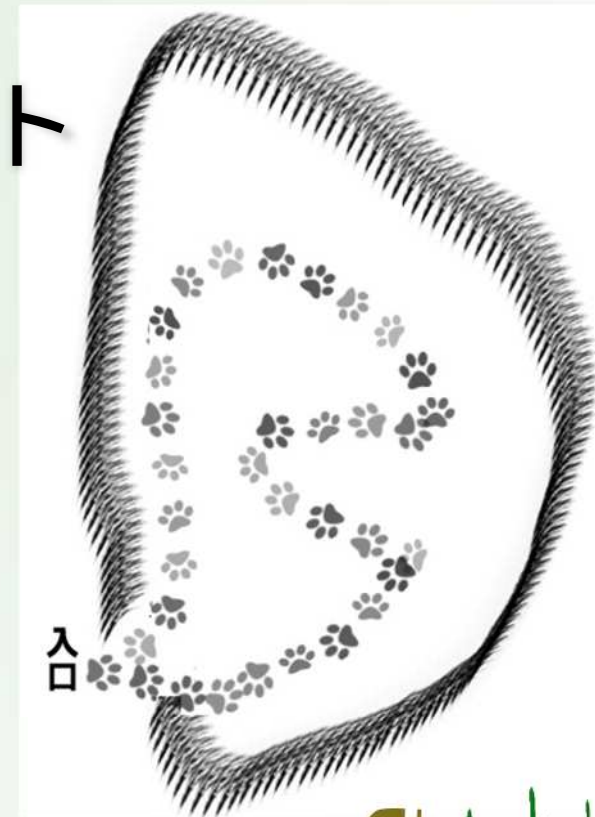
長さ25.6m

3m



野草広場再生プロジェクト

- 探検路を設定し、杭とロープで、草を刈り込み、踏み固める
- 探検路以外の場所には、安易に立ち入らないようにする
- デザインされた草刈りを毎月実施



実生林創生プロジェクト

雑木林と実生林の樹木

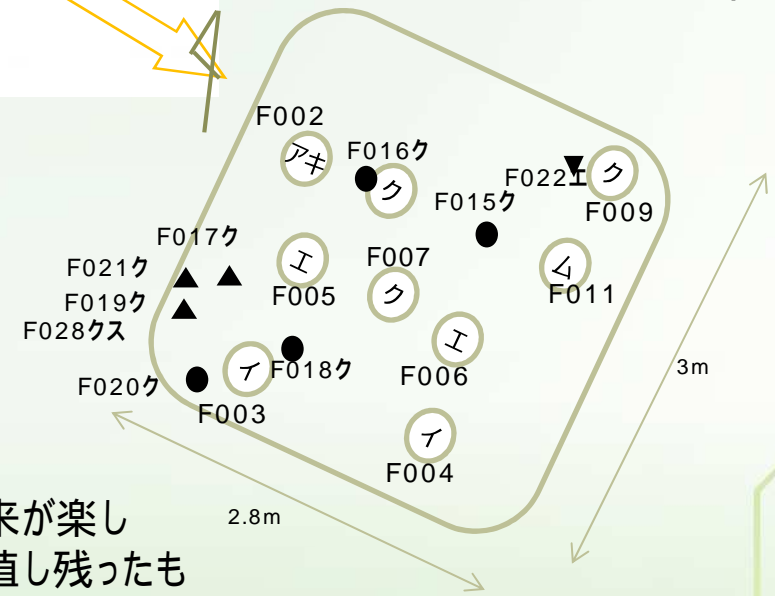


- 記号：講座で移植した種
- アカ：アカメガシワ 1本
 - アキ：アキニレ 1本
 - イ：イヌビワ 2本
 - エ：エノキ 2本
 - ク：クヌギ 3本
 - ム：ムクノキ 2本

野草広場の実生樹木
2015年1月29日移植



2014年11月15日講座「将来が楽しみ！雑木林を育てよう」で移植し残ったものと、それ以後に実生として芽生えたもの



来園者へのメッセージ

(看板：QRコードで)

野草広場

野草広場再生プロジェクト

いろいろな種類の野草を観察できるように、広場全体が踏み固められて乾燥することのないように、探検路を設けて立ち入りを制限しています。

野草広場再生プロジェクト

いろいろな種類の野草が生えてくると、いろいろな種類の昆虫がやってきます。探検路から観察しやすいように、草丈の高さを考えて、刈り込みを行っています。

野草広場再生プロジェクト

なるべく外来種を減らし、広く占有しようとする種も抑えて、時間をかけながら多様な生物種が観察できるように、選択的草刈りを行っています。

野草広場再生プロジェクト

野草広場としての、本来の姿に再生する試みです。ここをすみかにする生き物を、野草をかきわけ探検できる場として、デザインされた草刈りを行っています。

来園者へのメッセージ (看板：QRコードで)

実生林・雑木林

実生林創生プロジェクト

ここでは、自然体験観察園およびその周辺で、自然に種から芽吹いたものを移植したり、そのまま成長させたりして、雑木林の復元を試みています。

実生林創生プロジェクト

人間による環境破壊は一瞬ですが、自然の力で、もとの環境にもどすのは、とても時間がかかります。ゆっくりですが、これらの樹木は少しずつ大きく成長しています。

実生林創生プロジェクト

落ち葉を残して、ふかふかの土にしたり、下草を適度に刈り残したりして、地面が乾燥しないような工夫を行っています。

実生林創生プロジェクト

枯れ枝や切り株も虫やキノコによって分解され、土にかえっていきます。ここでは枯れたものも残して、自然の中での循環を学べる場になっています。